

平成28年度 学校自己評価表（実施段階）

学校運営計画（4月）				評価（3月）					
学校運営方針		「豊かな心や健やかな体の育成」「新しい学力観に立った学習指導の推進」「キャリア教育を活かした進路保障」を柱に、総合学科の特長を生かした教育内容を通して生徒一人一人の夢の実現に向け、必要となる確かな学力と豊かな人間性をはぐくみ、キャリア発達を促す学校教育を推進する。		A					
昨年度の成果と課題		年度重点目標	具体的目標						
昨年度は、本校の教育・文化の発信に努めると共に、地域との連携や交流の活動を広め推進した。この事により、本校は目指す学校像「地域から愛され、共に発展する学校」へと更に前進することができた。本年度は、生徒理解と保護者との連携を深め、また、総合学科の特長を生かしたカリキュラム編成に努めて、生徒一人一人の自己実現と希望進路の実現に努める。		豊かな心や健やかな体の育成	時を守り、場を清め、礼を正す生徒を育てる 自己有用感を高め、協力的人間関係が築ける生徒を育てる コミュニケーションの大切さを理解し、他者に配慮できる生徒を育てる						
		新しい学力観に立った学習指導の推進	確実な学び直しを土台として学力を伸長させる 能動的学習の推進と観点別評価の研究と実践を行う 効果的な習熟度別学習と少人数学習の展開により学習権を保障する						
		キャリア教育を活かした進路保障	総合学科におけるキャリア教育を全教職員が理解し、実践する 「産業社会と人間」を源とするライフプラン作成能力を育成する キャリア教育を反映した自己実現のための選択活動を充実させる						
		本校の特長を地域・中学へ発信する	全教職員が本校の特長を理解し、全職員で本校の良さを発信する						
		評価項目	具体的目標			具体的方策	評価	現状での主な課題	
		教育推進 (学事部)	教務課			基礎学力の定着	前年度出席率98.2%及び出席皆勤者数251名を上回るように努める。 特に1年次において学び直しに力を入れ、基礎学力の向上を図る。	A	○出席率の更なる向上 ○生徒の主体的学習の推進 ○キャリア教育の更なる充実 ○体験入学や学校説明会の更なる充実 ○スクールガイドの内容見直し ○図書館の授業での利用、ホームルーム単位での利用の推進 ○生徒自身が図書館を活用して情報収集できる環境の充実
						キャリア教育の充実	入学から卒業までの学校教育活動全体を見通した効果的なキャリア教育を確立させる。 本校の特色ある教育活動を活かし、生徒の希望進路100%実現を目指す。	A	
			広報課			広報活動の充実	生徒の活力あるようすを広範にPRし、地域からの信頼が深められるよう努める。 体験入学や学校説明会を充実させ、本校の魅力効果的にアピールする。	A	
				地域や中学校に向けての正しい情報発信	学校行事に合わせてホームページを月2回以上更新する。 スクールガイドを見直すことで、総合学科の特長を中学生や保護者に分かりやすく伝える。	A			
			図書課	図書館利用者数の増加	図書館だよりおよびデジタル掲示板での図書紹介を年8回以上行う。 教職員の推薦図書リレーを実施することで教職員への貸出数を前年度より増加させる。	A			
生徒図書委員会の活動充実	図書委員が紹介する手づくりの図書ポスターを掲示することで生徒の図書への関心を深めさせる。 図書館内の装飾やディスプレイを図書委員自身で作成することで発信力を強化する。			A					
進路探究 (ガイダンス部)	進路指導課	希望進路の100%実現	挨拶やマナー指導を通して、コミュニケーション能力の伸長を図る。 応募前職場見学に積極的に参加させることで、職業意識を深めさせるとともに早期離職ゼロを目指す。 模試・課外授業・土曜講座を効果的に実施し、受験に必要な学力の確実な伸長を図る。 効果的なガイダンスにより、生徒の進路実現意欲を高める。	A	○進路指導課とキャリア教育推進課との連携。 ○時宜を得た情報の提供 ○地域連携の更なる推進 ○年次におけるインターンシップ指導の改善				
	キャリア教育推進課	80%以上の生徒がキャリア決定に役立つと思えるキャリア教育を実践する。	1年次は「産業社会と人間」を通して、進路選択に必要な力を学びとらせる。 2・3年次は「ドリムリサーチ」を通して、将来設計に必要な情報を主体的に収集できる生徒を育てる。 入学から卒業までの生徒の発達を見通したキャリア教育計画を策定し効果的な実施に努める。 卒業後の自分がイメージできるように、体験型の取組を増やす。	A					
生徒育成 (生徒部)	生徒指導課	基本的生活習慣の確立	制服を爽やかに着こなし清々しく挨拶する習慣の徹底を図る。 家庭との連携を密にして安易な遅刻・欠席をなくするとともに、無届ゼロを目指す。	B	○遅刻・欠席状況の改善：家庭との連携を更に深める ○交通安全教育の更なる推進：安全確保や交通マナー向上に対する意識のより一層の向上 ○ネット上のトラブル防止：情報モラル教育の推進 ○個別の支援計画の策定				
		安全教育の充実及び社会性の育成	登下校指導・安全教育を通して生徒自らが安全確保に努め、交通マナーの向上を図る。 人間関係形成能力を高め、場に応じた行動と態度がとれる生徒を育てる。	B					
	保健課	情報の共有化と健康相談活動の充実	生徒情報交換会を年3回以上実施し、必要に応じて個別の指導計画および教育支援計画を作成する。 スクールカウンセラーや「性と心の健康相談」を積極的に活用し生徒の健全育成を図る。	A					
		学校安全と学校環境の整備	緊急時の応急処置や緊急時の体制を整備することで学校安全の強化を図る。 校内美化に向けた清掃点検や清掃用具等の整備を充実させることで生徒の健全育成を図る。	B					
教育企画	企画庶務課	学校行事の円滑な遂行	月別行事予定表では授業や課外の予定、食堂の開店日も掲載してよりわかりやすくする。 学校行事においてはいつからどの分掌と協力してやるかを明確にし、皆で仕事を分担する。	A	○学校行事の円滑な運営と行事の精選 ○PTA活動との連携強化：委員会活動の活性化 ○教員の資質向上に向けた校内研修会の充実				
		PTA活動の充実	地区のPTA活動において、取組が円滑に進むように前もって準備する。 各種委員会を確実に開催できるように案内し、保護者の積極的な参加を早め呼びかける。	B					
	企画研修課	ニーズに対応した研修の実施	各校務分掌と連携し、生徒の現状や職員の要望に添った研修会を実施する。 外部機関と積極的に連携することで活動の充実と活性化を図る。	A					
		生徒に還元できる授業研究会の実施	授業研究会の内容を検討・改善し、全職員が授業改善に取り組みやすい環境をつくる。 教務課と連携して授業活性化に資する研修を実施する。	B					
年次・学級経営	1年次	高校生としての自覚、基本的生活習慣の定着	自己管理の重要性を理解させ、前年度以上の出席率を目指す。 挨拶を励行し、時間を厳守し、清掃活動が徹底できる生徒を育成する。	A	○進路希望に沿った合わせた学力向上 ○進路実現に向けた生活習慣の更なる向上 ○積極的な資格取得に繋げる個人面談の活用 ○進路選択における継続的な指導 ○進路決定者に対する学習指導、生活指導の徹底				
	2年次	生徒の志を育て、2年後の希望進路の実現に繋げる進路指導の充実を図る。	月ごとの出席皆勤者数を掲示するなど意識付けを行うことで、出席皆勤者50%（140名）以上を目指す。 基礎学力テストや定期考査等で生徒の学力を把握し、実態に応じた対策を実施して基礎学力を向上させる。 生徒1人1つ以上の資格検定に挑戦させることで、スキルアップを目指した資格取得を推進する。	A					
	3年次	進路実現と学校生活の充実	丁寧な進路相談と課外授業の充実により進路実現100%を目指す。 学校行事等への積極的参加を促し、出席率98%、出席皆勤者100名以上を目指す。	A					
学校事務	相手の立場に立った対応を心がける。	電話や窓口での接遇の際、相手の立場で親身に対応することで学校外から信頼される学校づくりを目指す。	A	A	○信頼される学校づくりの更なる向上				